

いいまちづくり 観音寺輝き隊通信

令和三年十二月一日 発行

文責：大西
編集：白川

『輝き隊通信バックナンバー』と検索
または下のQRコードからこの通信
のバックナンバーを見ることができ
ます。また観音寺市のホームページ
からも輝き隊通信は閲覧できます。

https://kagayakitai.
amebaownd.com/
mbaownd.com/ht
e-resume4e6ex///sdh

【琴弾公園ヒストリー ⑱】

《観音寺松原》 有明浜に続く松林が「観音寺松原」として瀬戸内海国立公園に編入されたのは今から六十五年ほどのことです。当時は、琴弾山の松を含め約五万本あったとされています。銭形砂絵周辺の松は老松と変化に富んだ形状の松が見もので「姫松・小傘松・すそひき松」など呼び名が付けられていました。特に琴弾山一面に生

えていた小傘松は「赤松の矮（わい）小化したものでありしかも、傘状を成している。これは地質との関係に依るものと考えられている。香川



県では、これ程広範囲で多数生えているのは類をみない」とされ、「大正十三年三月、史蹟名勝天然記念物調査報告書」には琴弾公園小傘松が天然記念物と記されていました。同報告書に琴弾山根上り松も天然記念物とあります。年月を経て地質の変化などにより現在は小傘松の存在が確認できなくなりましたが、変化に富んだ見事な枝振りの松が数多くあり「観音寺松原」としての誇りでもあります。

琴弾公園散策ガイド養成講座

5回にわたる琴弾公園ガイド養成講座が終了しました。講師の先生方の素晴らしい元より、参加者の皆さまの熱心さに胸をうたれました。全員から参加できたことへの喜びの声をいただいたことは主幸した私たちへの《何にも代えがたいご褒美》に思えました。関わってくださいましたすべての方に感謝いたします。

◆いいまちづくり観音寺輝き隊◆

私たちは「琴弾公園の魅力を高めること」を主な目的にしている小さなボランティア団体です。歴史的なものを見直し郷土愛を高め、まちをもっと元気にしようと頑張っています。

【琴弾公園クイズ ⑳】

琴弾公園内には古くから《幻のキノコ》の存在が確認されています。このキノコの名前は？

- ① ショウロ ② シロハツ
- ③ ツチカブリ



寛談 雑永

「花の終わり」にはいろいろな表現があります。花びらが一枚ずつ風に舞う桜は「散る」、ポトリと潔く花の命を終える椿は「落ちる」。花びらがぼろぼろと落ちて絨毯のように重なる梅や萩は「こぼれる」、菊は「舞う」、牡丹・芍薬は「くずれる」そして小さな花びらが雪のように散っていく雪柳は「ふぶく」、菖蒲や朝顔が「しぼむ」。どれもその終わり方が目に浮かぶ素敵な表現です。今年も一年の終わりの月になりました。

来年につながるような終わり方となる日々を過ごそうと改めて思います。



(M)